

河川パトロールなどで功労表彰

2月19日、平成30年度大淀川流域学習会で小林市河川浄化等推進員の高津佐忠さんに功労表彰が贈られました。高津佐さんは、10年にわたり河川の監視やパトロールなどに取り組んできたことが認められ受賞しました。



交通安全の下敷きと定規を寄贈

2月21日、県自動車整備振興会小林支部が教育委員会に交通安全の下敷きと定規を寄贈しました。同会の田中節夫支部長は「児童への交通安全啓発に活用いただければ」とあいさつ。いただいた下敷きと定規は、市内の新小学1年生に配布します。



中国の大学生 60人が植樹活動

3月14日、中国の大学生60人が緑ヶ丘公園で植樹活動を行いました。外務省が推進する事業で、日中友好の促進が目的。大学生は植樹活動のほか、北きりしま田舎物語協議会による受入れ農家へのホームステイと農作業体験も行いました。



准看護学校生徒 15人が看護の道へ

3月5日、小林准看護学校の卒業式がガーデンベルズ小林で行われました。15人の生徒が2年間通い学んだ学舎に別れ。生徒を代表して坂元里帆さんが「人の命を預かる責任の重さを自覚し、看護の道を歩んでいきます」と決意を述べました。



女性も男性も協力する社会に男女共同参画推進大会

2月24日、男女共同参画社会推進大会を文化会館で開催しました。性別にとらわれない社会の実現が目的で、約180人が来場。高齢社会をよくする女性の会の樋口恵子理事長が登壇し、「現在は、人生100年社会。女性も男性も協力しないと乗り切れない」と参加者に訴えていました。



講演する樋口さん。講演の前には、アンケート調査から見える小林市の現状報告などもあり、参加者は理解を深めていました

小林の絶景を楽しみながらウォーキングを通して交流

2月23、24日に「第21回みやざきツアーマーチ・こばやし霧島連山絶景ウォーク」を開催しました。北海道から沖縄まで、2日間で2162人が参加。参加者は、出の山公園や生駒高原、陰陽石、三之宮峡など市内の各観光名所を巡る6キロから30キロの8つのコースを歩きました。



同大会はスポーツ振興くじ助成金を受け開催。参加者は、地域住民のおもてなしを受けながらウォーキングを楽しんでいました



1

マラソンで小林を満喫霧島連山絶景マラソン大会

3月3日、第3回こばやし霧島連山絶景マラソン大会が開催されました。大会には、市内外から約1400人のランナーが参加。小林駅周辺を発着とする1.5キロや初採用となったハーフマラソンなど7部門を、参加者は楽しみながらそれぞれのペースで走りました。中には仮装をして走る姿も。競技終了後は、宮崎牛肉うどんとおにぎりが参加者にふるまわれました。



2

Photo1 笑顔で競技を楽しむ参加者。沿道からはボランティアで参加した高校生などが声援を送っていました 2 ハーフマラソンのスタートで勢いよく飛び出す選手たち 3 ファミリー部門では家族で手をつなぎながらゴール

3



2



3

Photo1 須木地区の小野湖の大吊橋からの眺めを楽しむ参加者 2 霧島岑神社では、本殿内部も見学しました 3 自然が生み出した奇石「陰陽石」を見学



1

地域DMOとして初の企画ファンサポモニターツアー

3月10日から11日にかけて、全国に約8000人の会員がいるこばやしファンサポーターズCLUBを対象に募集した「まると体験モニターツアー」を開催しました。まちづくり(株)が地域DMO推進事業の一環として初めて企画し、千葉県や大阪府、鹿児島県などから15人が参加。出の山公園や北きりしまコスモドームなど市内の観光施設を巡りました。

小林看護医療専門学校卒業式

3月6日、小林看護医療専門学校の卒業式が開催されました。看護学科34人、医療秘書学科2人に卒業証書が渡されました。卒業生を代表して加瀬田夏海さんは「医療従事者として探求心をもって進んでいきます」とあいさつしました。



文化会館でチャリティコンサート

3月8日、チャリティコンサート（国際ソプロピミスト小林主催）が行われました。イベントを前に、細野中学校吹奏楽部など個人1人団体2団体を表彰し、益金の一部を寄贈。その後、同部の吹奏楽やエレクトーンのコンサートが行われました。



教育フォーラムで成果を発表

3月10日、学校・家庭・地域の教育フォーラムをTENAMUビルで開催しました。保護者や教員など約180人が来場。市内小学生による落語、市の地域学校協働活動報告、子育て紙芝居などの発表を行いました。



地婦連がカエルのお守りを寄贈

3月18日、市地域婦人連絡協議会が教育委員会にカエルのお守りを寄贈しました。市内新小学1年生に配布。同会の上原裕子会長は「子どもたちが、無事に登下校できるよう願いを込めて手作りしました」と話していました。



瀬戸山さんが全国青年農業者大会で農林水産大臣賞を受賞

3月12日、全国青年農業者会議で最高賞の農林水産大臣賞を受賞した瀬戸山貴行さんが市長を訪問しました。茶園に落下する異物除去作業を機械化することで、省力化やコスト削減につなげたことが評価。瀬戸山さんは「若手農家の見本になり、農業の発展に役立てたい」と話していました。



瀬戸山さんは、市内若手農業者で組織する小林市 SAP 会議の会長。同会が農林水産大臣賞を受賞するのは今回で3回目です

新たな6次化商品開発が結実 地井シェフ監修きのこソース

3月16日、食と農の魅力創生シェフとして活躍する地井潤シェフが監修に携わった6次化商品の発売記念試食会が開かれました。新商品を開発したのは、きのこを生産する玉光園の古川さんご夫妻。「良質な水に育まれたきのこの旨味が詰まったソースです。ぜひご賞味ください」と笑顔でした。



新商品はオイルソース、トマトソース、塩麹のディップソースの3種類。「宮崎の6次化産地育成事業」を受けて開発されました



1

少年の夢を叶える職場体験 祖父のためバスの運転手に

3月10日、少年の夢を叶える職場体験が宮崎交通小林営業所で行われました。市教委の事業の一つである「家族の作文」作品集で、「運転ができなくなった祖父のためにバスの運転手になりたい」と夢を書いた小野幹太くん。公共交通の担い手育成と教育の一環として宮崎交通の協力のもと、小野くんを招待して、バスの運転手の体験や整備センターの見学などを行いました。



2

Photo1 宮崎交通社員から運転席の設備の説明を受ける小野くん 2 マイクでアナウンスをしながら、実際に市内を巡りました 3 最後には、「大きくなったらバスの運転手になってほしい」という思いから、大人用の乗務員帽子が贈られました



3



参加者は、宮崎駅からの臨時列車に乗り来市。小林産の食材を使った料理を味わいながら列車の旅を堪能しました

吉都線を活用したツアーで 小林産の食材をPR

3月3日、JR吉都線で市を訪れ、市内を巡るツアー「香月ワインズ TRAIN (JR九州主催)」が開催されました。JR吉都線利用促進協議会と市観光協会が協賛し、県内から40人が参加。市内の生産者などが出演するトークセッションを行い、小林産の食材の魅力をPRしました。

睡眠でこころとからだを健康に 出張睡眠市民公開講座を開催

3月9日、出張睡眠市民公開講座が開催されました。「こころもすっきり!! 睡眠術」と題して潤和会記念病院の鶴田和仁名誉院長が講演。鶴田さんは「質の良い睡眠はこころとからだの健康につながる。寝るタイミングや起きる時間のめりはりを大切にしましょう」と話していました。



睡眠は脳を修復させ、学習や運動にも影響があることを説明。同講座は、自殺予防対策の一環として開催されました